

## 南ア) 仙丈ヶ岳山行報告

(山 域) 南ア 仙丈ヶ岳

(コース) 戸台河原駐車場⇔北沢峠⇔小仙丈ヶ岳⇔仙丈ヶ岳 (往復)

(日 時) 前夜発 平成 29 年 12 月 29 日 (金) ~31 日 (日)

(天 候) 29 日 晴れ 30 日 快晴 (風強し) 31 日 晴れ後曇り

(参加者) CL 田中・SL 澤田 (淳)・斎藤 (健)・佐藤 (記録)

(山行タイム)

29 日: 戸台河原駐車場 8:00→14:00 北沢峠 (こもれび荘)

30 日: 北沢峠 (こもれび荘) 6:15→小仙丈ヶ岳→12:00 仙丈ヶ岳→14:50 北沢峠 (こもれび荘)

31 日: 北沢峠 (こもれび荘) →10:50 戸台河原駐車場

(山行報告)

28 日 (木) 21:30 に千葉駅付近で合流して戸台に向かい出発する。

29 日 (金) 未明に戸台河原入り口付近に到着するが夜間で道はよく見えないため、付近の路肩でテント仮眠をとる。明るくなってから戸台河原駐車場に進み、すでに 2/3 ほど埋まっていた駐車スペースに車を停めて身支度に入る。(朝はとても冷えて手足が冷たくジンジンして居た) 登山口には長野県警補導員の皆さんが登山者に登山届の指導をしていたが、届けをコンパスで提出済みと言うとスンナリと通ることができた。

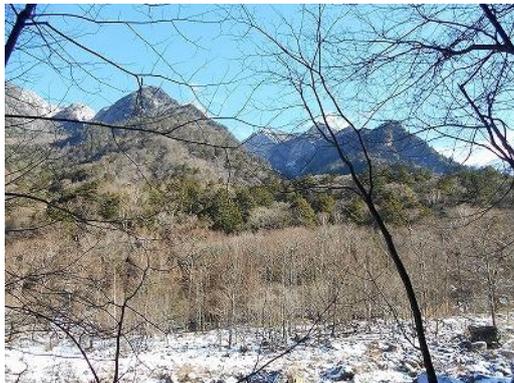
戸台川の河原伝いに延々と歩き、鋸岳を横目に眺め八丁坂を上り北沢峠 (こもれび荘) に達する。



【戸台川河原駐車場からスタート】



【堰堤まで右岸をひたすら進む】



【戸台川河原歩きで鋸岳方面を望む】



【八丁坂を越えて】



【北沢峠 こもれび荘に到着】



【夕食はシチュー&ハンバーグ】

こもれび荘の夕食もなかなかよい食事であった。

30日（土）朝食はバイキング形式でご飯もお粥であり、朝の目覚めにはお腹に優しい食事を頂き、暗い内に準備が整うが、暗い中の登りを避けて明るくなるのを待つことにする。



【6時すぎ、待機中】



【小屋前でアイゼン等装着】



【樹林帯を登っていく】



【6合目付近から甲斐駒ヶ岳方面を望む】

予報は20m強の風が吹く予報では有るが、快晴は間違いなく、夜明け少し前に山荘を出発する。5合目（大滝の頭）にてストックをデポしてピッケルとアイゼンのスタイルで山頂を目指す。樹林帯を抜けると風は強烈に吹き付けるが雪の状態も安定していて突風を注意

すれば十分に頂を狙える良い天気であった。

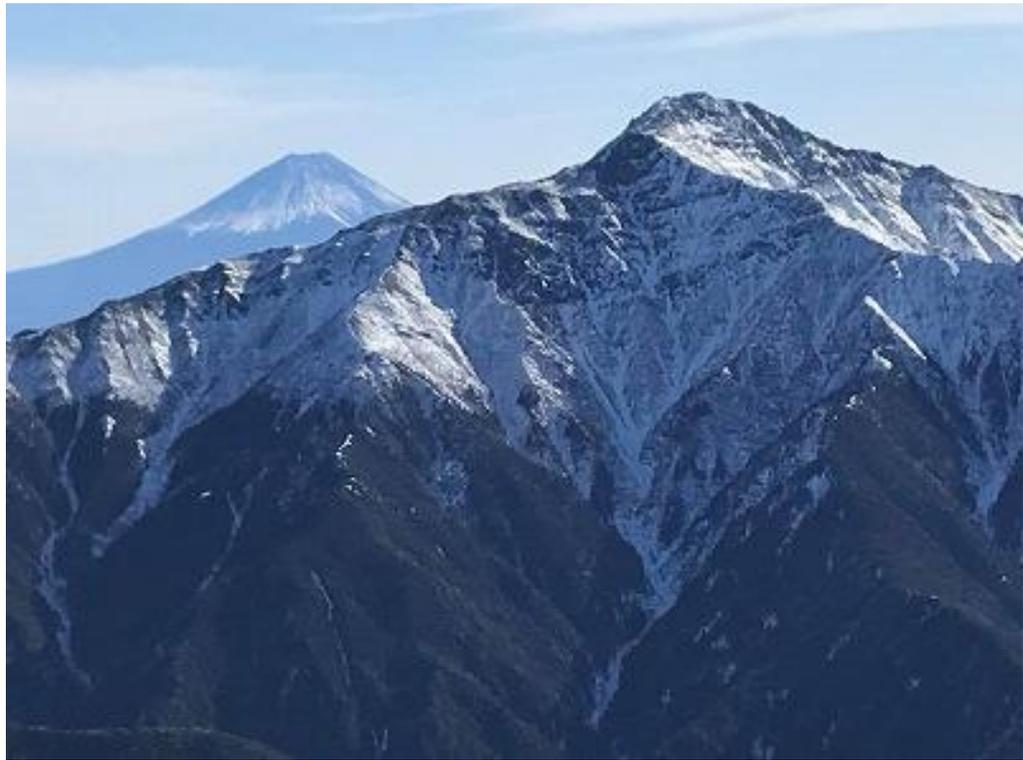
小仙丈ヶ岳で S (健ジ) さんが体調と写真撮影のため山頂は狙わないとのことで、残る 3 名で頂へ向かう。



【上：山頂に続く稜線、 下：稜線を行く S (健イ) さん・S (淳) さん】

途中のナイフエッジの稜線も難なく超え、仙丈ヶ岳頂にダブル S (健イ) さん・S (淳) さんが、到着し遅れること数分～10 分で T も登頂が果たせた。

山頂より富士山（No1）と北岳（No2）が並んで見えたのは、見ごたえのある圧巻の景色であった。



【富士山（No1）と北岳（No2）】



【仙丈ヶ岳山頂の記念撮影】



記念撮影の後に早々と下山に就き、長い下山道をひたすら降りていくが、ストックデポ地でS(淳)さんのストックが無い。《やられた！！》近くに一組有るが、まだ上には人が居て、持ってくる訳にもいかず、やむなく断念する。

15時前には山荘に帰着して、この後は今年最後の山を締めくくる祝宴となる。

31日(日) ゆるりと起床し、バイキング朝食もゆっくりと頂き一昨日の登路を延々と下山して、仙流荘にて、1年の汗を洗い流し帰途についた。



【サー帰ろう。】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



・【今年も終わり】